

関係機関 (市外局番0263)

松本市 商工観光部 商工課 工業振興担当／健康産業・企業立地課
TEL.34-3270 FAX.34-3008 TEL.34-3296 FAX.34-3297

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ
TEL.32-5350 FAX.32-1482

長野県地域ジョブ・カードセンター
TEL.50-8260/8261 FAX.50-8945

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
TEL.37-2091・3527 FAX.37-3049

(公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター
TEL.40-1780 FAX.47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

創刊号
平成30年5月発行

松本市工業ビジョンの推進

(一財) 松本ものづくり産業支援センター
(まつもと情報創造館 1F)



(一財) 松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田南西原4010-27
TEL.0263-40-1000 FAX.0263-40-1001
ホームページ <http://www.m-isc.jp/>

松本ものづくり産業支援センター

検索

クリック!

松本ものづくり産業支援センターNEWS
創刊号(平成30年5月)
発行/松本ものづくり産業支援センター
印刷/株式会社ブルート



「一般財団法人松本ものづくり産業支援センター」の開所にあって



理事長 坪田 明男

当センターは、従来の「一般財団法人松本ソフト開発センター」に「まつもと工業支援センター」の機能を統合して開設されました。顧みて、松本ソフト開発センターは、松本市並びに松本商工会議所及び地域のソフトウェア関連企業の出捐により、平成元年に設立され、今まで、研究開発支援組織として、地域ソフトウェア産業の振興に寄与してまいりました。一方、「まつもと工業支援センター」は、前の「松本市工業ビジョン」（計画年度2008～2017）に掲げる施策を推進していくため、平成21年に設置され、工業関係者にワンストップサービスが提供できる場所として、構成機関である行政や支援団体が連携して活動してまいりました。

両者とも地域社会のニーズに応えるべく、それぞれの役割を果たしてまいりましたが、少子高齢型人口減少社会の進展や、世界経済の動向など地域産業を取り巻く情勢が大きく変化するとともに、技術の高度化・多様化によるICTの求職な発展と普及により、その役割もより高度で専門的な支援が求められております。

こうした点を踏まえ、このほど策定された新たな「松本市工業ビジョン」（計画年度2018～2027）を受けて、松本地域における「ものづくり産業」の振興とICTの支援体制の強化及びICT人材育成を一体のものとして推進するため、支援力の更なる強化を目指し、組織改編を行い開所した次第であります。

コーディネーターの活動を中心とした、中小企業への適切な支援を始め、企業におけるニーズを明確に把握し、販路拡大や商品開発の支援、産学官連携の推進、また、ICTやIoTの技術支援などを通じて産業創発を加速化してまいります。

また、「平成30年地方創生 松本広域圏しごと創生事業」の一環として、松本市のコワーキングスペースやサテライトオフィスの運営を当センターが担わせていただくことになりましたので、関係機関の皆様方のご支援をいただきながら、ご期待に応えてまいります。

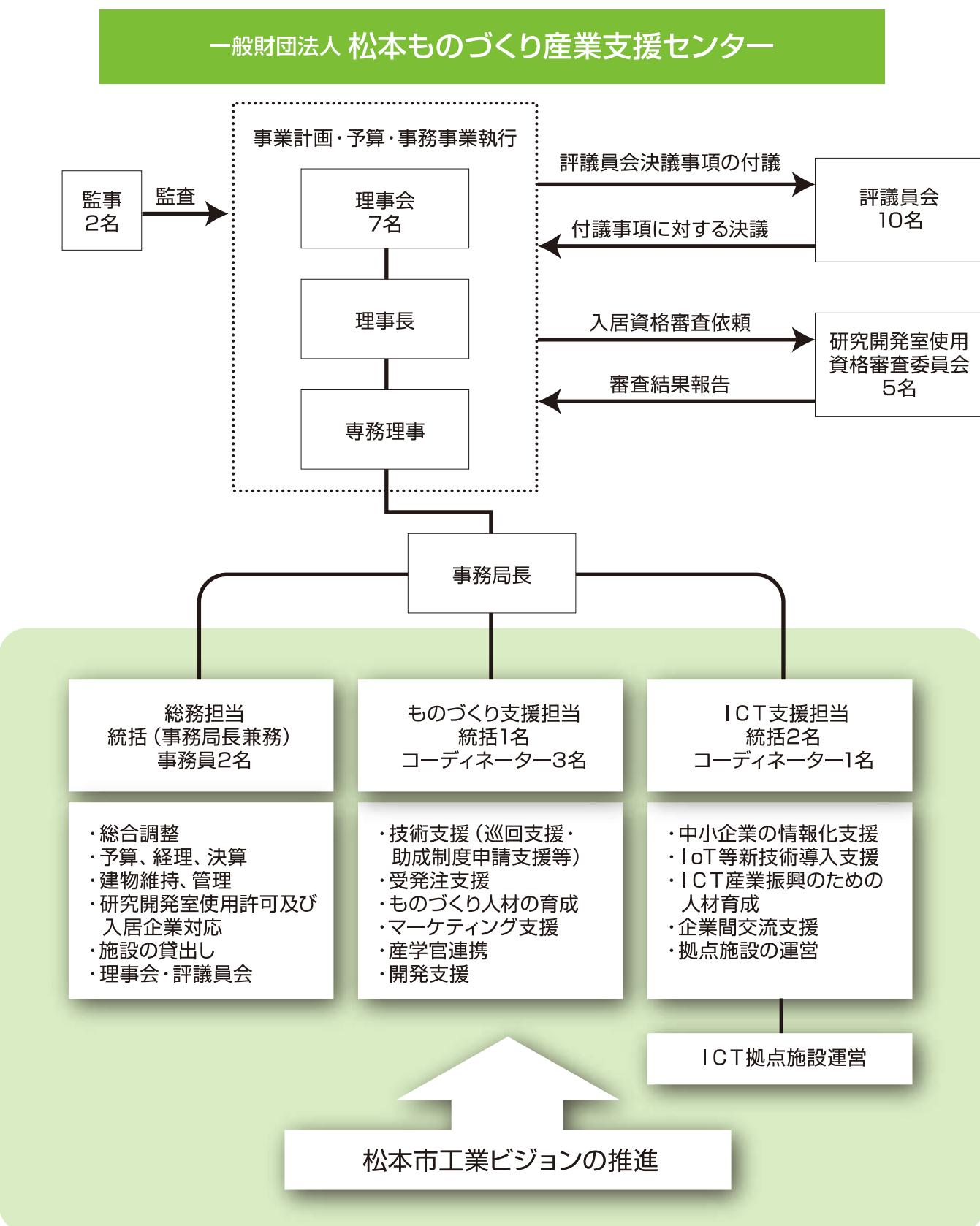
今後とも当センターへの変わらぬご支援をお願い申しあげるとともに、専門性の高いコーディネーターを配置し、地域の中小企業の皆様へのきめ細やかな支援を実施してまいりますので、当センターをご活用いただきますようお願い申しあげ、開所にあたっての挨拶いたします。

目次

1 組織	3P
2 コーディネーターの紹介	4・5P
3 松本市工業ビジョン重点的推進事項	6~8P
4 「まつもとテレワークオフィス」の開設	9P
5 関係機関		
(1)松本市（商工課工業振興担当／健康産業・企業立地課）	10・11P
(2)松本商工会議所	12P
(3)長野県地域ジョブ・カードセンター	13P
(4)信州大学学術研究・産学官連携推進機構	14P
(5)（公財）長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター	15P

NEWS 1

組織(平成30年4月～)



松本ものづくり産業支援センターの コーディネーターの紹介

専門性の高い5名（ものづくり支援担当3名、ICT支援担当2名）のコーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施してまいりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守
コーディネーター

得意 分野

松本市新工業ビジョンが策定され、新たな重点分野として従来の医療・健康分野に加え、食料品製造分野と産業用ロボット等の高度な産業用機械分野が追加されました。当重点分野に関わる企業の皆様の課題・ニーズを重点的にお聞きしながら経営力向上に向けた支援を行います。

主な 支援内容

- ①経営力向上に関わる支援全般
- ②革新的技術開発支援
- ③各種技術開発支援制度の申請支援
- ④ビジネスマッチング支援



備前 章
コーディネーター

得意 分野

電子機器製造会社での多岐に亘る経験から「現場力は人づくり」を銘に地域企業を支援させていただきます。国内外で区別化できる強い技術力、現場力の強化を目指して、特定の経営課題に対する助言、現場密着型の実践支援を行います。

主な 支援内容

- ①経営の自立化と技術の高度化のための中期経営計画策定や製造力強化など
- ②科学的手法による事業戦略展開、国内外製造拠点の現場力強化（QCDSM）など
- ③次世代を担う若手経営者／後継者及び若手職場リーダーの育成



平 義男
コーディネーター

得意 分野

「マーケティング」とはその事業が継続的に利益を出す仕組みづくりと理解し、企業の皆様と共に顧客ニーズを顕在化し、商品開発から販路開拓まで支援を行います。

主な 支援内容

- ①域内企業の強みを結びつけ、新価値創造を支援
- ②企業の「ブランド戦略」知的財産権取得など支援
- ③食品産業の商品開発・販路開拓支援
- ④「ギター産業」等伝統木工技術が伝承されている産業支援
- ⑤国内・海外展示会出展を企画、新規市場開拓支援
- ⑥国・県・市補助金支援

ICT支援担当



野尻 和彦
コーディネーター

得意 分野

日々進化し続けるICT（※）にキャッチアップしながら、ICTを活用していくかに企業活動を支えていくかを追求いたします。そのため、企業内に及び企業外からICTを活用できる人材を育成していくことを支援していきます。
用語が専門的で敬遠しがちな方こそ、お気軽にお問い合わせください。

(ICT(情報通信技術) : Information and Communication Technology)

主な 支援内容

- ①経営者向け、一般職員向け、中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等開催
- ②ICT拠点を整備し、企業活動の活性化により起業、創業、事業発現支援
- ③ICTの導入・活用による経営の高度化支援
- ④ホームページ診断、ホームページの開設、ウェブショップ開設など、ICT関連の支援
- ⑤ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信、情報提供など



廣津 秀宣
コーディネーター

得意 分野

個々人の意思を相手に正確に伝えるコミュニケーションツールの一つとして情報通信技術（ICT）があると思っています。現場で起きていること（状況）をリアルタイムに判りやすく伝達させるための仕組みづくりをご提案させて頂きたいと思っております。事業継続発展のためのICT仕組みづくりから維持運用まで、そして改善を積み重ねていく体制と一緒に考えさせてください。

主な 支援内容

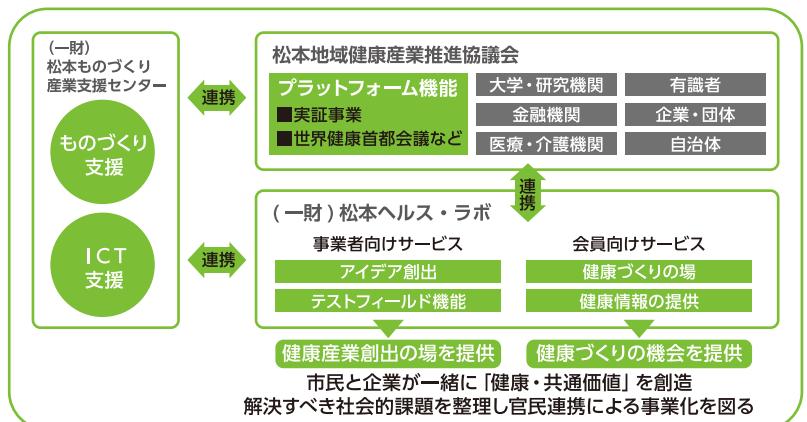
- ①ICT/IoTインフラ環境整備の構成要素である社内ネットワーク整備支援
- ②ICT/IoT関連研修会等の情報発信・情報提供
- ③ICT仕組みづくりの支援

松本工業ビジョンの重点的推進事項

健康・医療産業の推進

「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて「松本ヘルスパレー構想」のもと、引き続き産学官連携の場として松本地域健康産業推進協議会の取組を推進します。

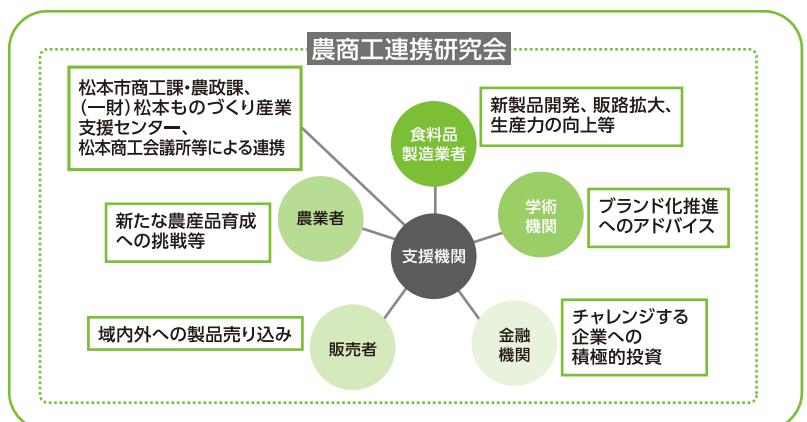
また、企業の医療・介護周辺分野、健康分野等での新製品・新サービス開発を支援するため、健康づくりを行う市民と健康産業の創出を進める企業が一緒になり、解決すべき社会的課題に対応し新たな事業化を図る「松本ヘルス・ラボ」の取組を推進します。



食料品製造業の重点的な推進

豊富な農産物など松本の地域資源を効果的に活用した、松本ならではの新製品の開発等、食料品製造業の重点的な推進を図ります。

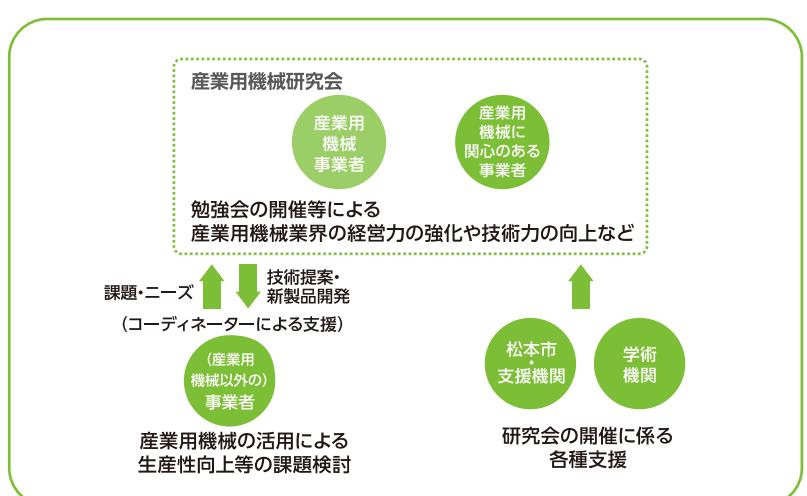
支援機関が農業者と食料品製造業者の橋渡しを行い、新製品の開発等を行うほか、原材料となる地元産農産物及び加工品のブランド化を目指します。



産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の重点的な推進

既存の産業用機械の事業者のほか、関心のある事業者により産業用機械研究会を形成し、産業用ロボット等の高度な産業用機械の業界動向や新規格の情報などに関する勉強会等を開催することで、経営力の強化や生産性の向上、新技術・新製品開発の促進、企業間の連携による新たなビジネスチャンスの創出等を図ります。

また、市内事業者における産業用機械に関するニーズを、産業用機械事業者へ提供することで、新たな産業用機械の開発促進と共に伴う技術力の向上を図ります。



健康経営の推進

社員の健康づくりを経営課題と捉え、体と心の健康増進に努めることで医療費の抑制のほか労働生産性や企業価値の向上につなげようとする「健康経営」への関心が高まっています。「健康経営」は、企業が短絡的な利益のみを追求するのではなく、従業員が心身ともに充実して働く就労環境を実現することで、生産性の向上や、従業員の主体的で先取的な活動を促進し、企業が持続的に成長を遂げていくための基盤を構築することを目指す経営理念です。また、企業イメージの向上にもつながり、求職者から選ばれる企業となる効果も期待されます。

「健康経営」に対する企業の意識啓発を図るほか、健康経営を切り口とした経営改善支援や健康経営に取り組む松本ヘルス・ラボ会員企業のPR等を行うことで、生産性の向上や企業イメージの向上、労働力の維持・確保を図っていきます。



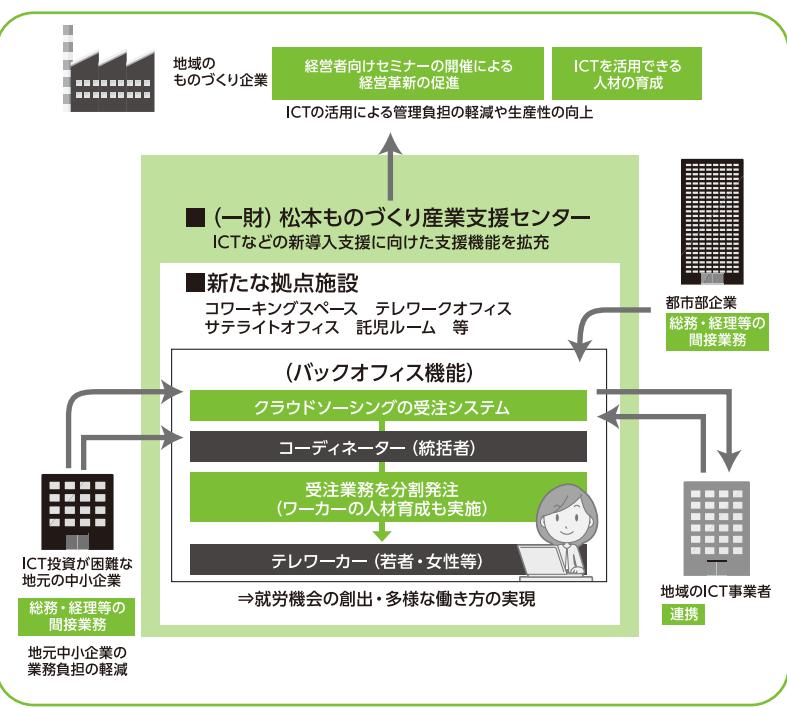
ICT活用によるものづくり産業の生産性向上

地域企業へのICT導入に向けた支援機能を拡充するほか、「コワーキングスペース」や「サテライトオフィス」を併設した、新たな拠点施設を設置し、ICTの活用によるものづくり産業の生産性向上と新たな活力の創出を促進します。

地域企業のICT導入による生産性向上のため、ICTの基本的な活用方法に関するスキルを有し、業務効率を高めることができる人材の育成を進めます。

また、ICTの導入・活用が困難であったり、人手不足の課題を抱える地域の中小・零細企業の業務負担の軽減、生産性向上を支援するため、これらの事業所の総務・経理等の間接業務支援を行うバックオフィスセンターの機能を新たな拠点施設に設けます。

これに伴い、テレワーク業務受発注システムの構築や、女性・若者等のテレワーカーの育成も図ります。



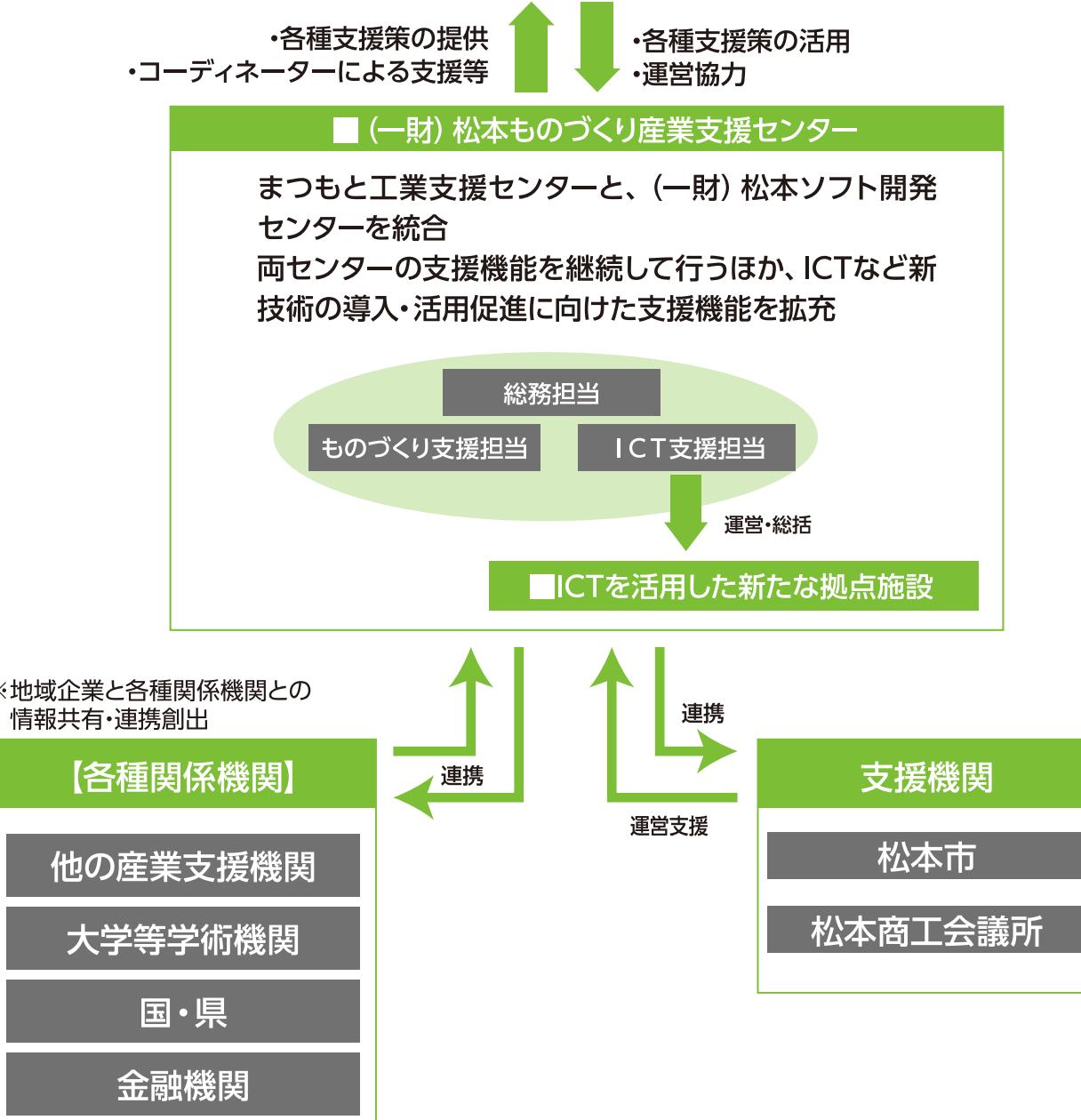
「まつもとテレワークオフィス」を開設しました

ビジョンの推進に向けて

当センターを核とした支援体制のもと、各関係機関との情報共有・連携を図りながら、施策を推進していきます。

「施策推進の体制」

地域のものづくり企業



松本ものづくり産業支援センターは、地域の中小企業支援や、子育て世代の女性などの活躍の場、人材活用などを目的に、「まつもとテレワークオフィス」を5月に開設しました。

製造業をはじめとする、多くの中小企業が人手（人材）の不足を感じている一方、働きたいという意思や知識、スキルがあっても、子育てや家族の介護など、様々な理由によりフルタイムで働くことができない方も多く存在します。

「まつもとテレワークオフィス」は、そうした人手不足の中小企業と、働きたい人材を“繋ぎ”、地元中小企業の生産性向上と、意欲ある人材の活躍の場を創出するため、ICTを活用した新しい働き方を実現する場所として開設したオフィスです。

センターでは、地元中小企業をはじめ、都市部の企業などから、自社で作業するには非効率なバックオフィス業務やアウトソース業務などを受注します。受注した業務は、センターに登録するワーカーに分割発注し、センターの最終的な検収により成果品に仕上げ、納品します。

テレワーク業務を希望する方は、センターと面接のうえ「ワーカー」として登録します。自身の都合の良い日時、時間を選択し、オフィスに設置された端末を使って作業を行います。オフィスは万全のセキュリティが確保され、センターが選任したディレクターや先輩ワーカーの指導下での作業となるので、クラウド、ワーカー双方にとって安心です。

この「まつもとテレワークオフィス」で行う「テレワーク業務受発注システム」は、国に認定された地域再生計画「松本広域圏しごと創生事業計画」に基づき、連携自治体で、同事業を先行実施している塩尻市振興公社との協同により運用するものです。

平成31年には、「テレワークオフィス」を含むICT拠点施設を、松本市の中心市街地に整備し、地元中小企業の皆様へのサービスを拡充してまいります。「まつもとテレワークオフィス」のご質問、発注等のご相談は、松本ものづくり産業支援センター（ICT支援担当）までお問い合わせください。



関係機関

1.松本市(商工課工業振興担当／健康産業・企業立地課)

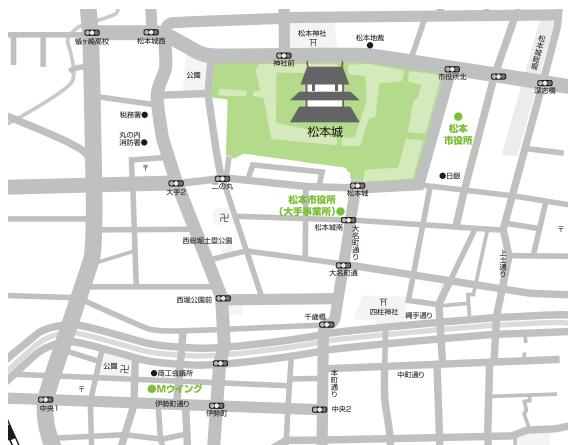
松本市では、新たな松本市工業ビジョンのもと、「健康・医療産業」、「食料品製造業」「産業用ロボット等の高度な産業用機械」等重点産業の推進や、ICTの活用促進、健康経営の推進等、松本市の製造業の活性化のための施策に、松本ものづくり産業支援センターと連携して取り組んでまいります。

1.組織の名称

松本市役所 ————— 商工課 ————— 工業振興担当
———— 健康産業・企業立地課

2.所在地・連絡先

- (1) 商工課 工業振興担当
〒390-0874 松本市大手3丁目8-13
TEL.0263-34-3270
FAX.0263-34-3008
Mail:shoukou@city.matsumoto.lg.jp
- (2) 健康産業・企業立地課
〒390-0811 松本市中央1丁目18-1
TEL.0263-34-3296
FAX.0263-34-3297
Mail:kigyou-r@city.matsumoto.lg.jp



3.業務内容

- (1) 工業振興担当
・工業活性化の推進に関すること
・産学官連携事業に関すること
・経営近代化の推進に関すること
・工業団地の管理に関すること
- ・成長産業の育成に関すること
・企業事務所の誘致促進に関すること
・地場産業振興事業に関すること
・ICT人材育成プラットフォームに関すること
- (2) 健康産業・企業立地課
・健康産業の振興に関すること
・新松本工業団地建設事業に関すること
・健康寿命延伸新需要創造事業に関すること
・松本ヘルス・ラボに関すること
- ・企業立地の促進に関すること
・松本地域健康産業推進協議会事務局に関すること
・新松本工業団誘致に関すること

4.各種助成・補助制度

ものづくり事業者の皆さんには、様々な助成、補助制度を用意しています。

詳細については、お気軽にお問い合わせください。

製造業等販路拡大支援事業

展示会等の出展に際し、経費の一部を補助します。

上限 国内25万円 海外50万

ビジネススタイルアップ商談会事業

「諏訪圏工業メッセ」への出展料の一部を松本市が負担します。

諏訪圏工業メッセ2018 10月18、19、20日

製造業等活性化支援事業

大学等研究機関との共同研究、異分野への進出など新たなチャレンジを支援します。

助成率1/2、限度額100万円

※医療健康分野の場合

助成率2/3、限度額200万円

製造業等人材育成事業

企業人材スキルアップのための研修費を助成する事業です。

助成率1/2、限度額受講者1名2.5万円

1事業者10万円

テレワークオフィス設置支援事業

ICT技術を駆使して、若者、女性、IJUターン者へ新しい働き方を提供する事業を開設する企業を支援します。

補助額 貸借料の1/2 限度額7.5万円／月

補助期間12月

工場等設置事業

工場団地等で、工場を新設、増設する場合、固定資産税相当額を助成します。

助成期間3年間

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場等を利用して、新商品の開発等を行う場合、工場等賃借料を補助します。

補助額賃借料の1/2

上限8万円 期間12カ月

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に事務所を新規開設等する場合、賃借料を補助します。

補助率1/2 限度額最大800万円

補助期間最長5年間

※事務所を取得する場合も別途補助が適用されます。

工場等用地取得事業

新松本工業団地に進出が決定した企業に対し、用地取得費の一部を補助するものです。

補助率 最高3/10 限度額最大2億円

※同時に新規雇用について補助制度があります。

このほかにも、様々な補助制度があります。

松本ヘルス・ラボ 活用のご案内

松本ヘルス・ラボは、「地域住民の健康増進」と「ヘルスケア産業の創出」を目指す拠点として、伊勢町にオフィスをオープンしてから1年が経過いたしました。

ラボが提供するサービスは、まず、会員サービスとして、年2回の体力測定と血液検査、月2回程度の運動（体操など）や医師等による健康講座などを開催し、運動や生活習慣のサポートを行っています。

また、企業向けサービスとして、製品開発に係るアイディア創出のワークショップや会員参加による開発商品のモニタリング調査事業を支援・実施しています。

さらに本年度からは、健康経営を切り口に法人会員制度を設立し、経営者・従業員の皆さまのサポート・支援も充実してまいります。

個人の健康づくりの場として、また法人の新たな試みの場として、松本ヘルス・ラボをぜひご活用ください。



製品開発に係るアイディア創出ワークショップの様子

●お問い合わせは下記までお願いします。

一般財団法人 松本ヘルス・ラボ

松本市中央1-18-1 Mウイング1階
TEL.0263-39-1139 FAX.0263-39-5539
ホームページ: <http://m-health-lab.jp/> E-mail : info@m-health-lab.jp

2.松本商工会議所

1.組織の名称

松本商工会議所 中小企業振興部 ものづくり支援グループ

2.所在地

〒390-8503 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館 1F
TEL.0263-32-5350
FAX.0263-32-1482
ホームページ:<https://www.mcci.jp/>



3.組織



4.平成30年度重点事業

平成30年度、松本商工会議所は創立110周年を迎えます。地域総合経済団体としての使命をあらためて認識し、組織の強化を図りながら、真に必要とされる商工会議所であるよう事業活動に推進して参ります。具体的な事業として、6月12日に日商、老舗企業、名誉会頭・副会頭・議員、永年事業所等の表彰を行う記念式典、講演会や祝賀会などを実施します。

ものづくり企業支援事業

1. 将来を担うものづくり人材の育成

「まつもと広域ものづくりフェア」(7月13日～15日、松本大学)を開催し、まつもと広域の小中学生や高校生に対し、ものづくりへの関心を深める事業を実施することにより、将来の当地域を担うものづくり人材を育成したり、就職先としての意識を喚起します。「長野県高等学校コマ大戦」を同時開催します。

3. 次世代現場リーダーの育成支援

第2期となる次世代現場リーダー研究会を開催中です(平成29年12月～平成30年11月予定)。自社の現場力を強化するため、将来自社の工場現場のリーダーになることを期待している人材の育成と、当面の工場の改善を目的に開催します。

5. 関係団体、関係機関との連携

以上の事業を推進するために、松本商工会議所ものづくり工業部会、松本機械金属工業会、中信溶接協会等と連携します。また、松本ものづくり産業支援センターをはじめ、関係機関との連携をして参ります。

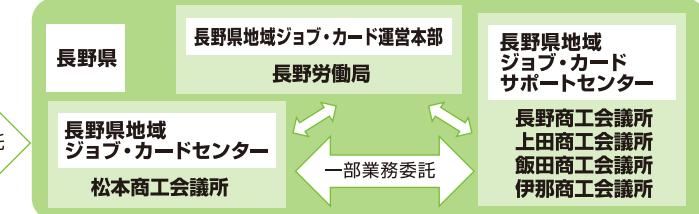
3.長野県地域ジョブ・カードセンター

1.組織の名称

長野県地域ジョブ・カードセンター
(松本商工会議所)

厚生
労働省

中央ジョブ・
カードセンター
日本商工会議所



2.所在地

〒390-1242 長野県松本市和田南西原4010-27
松本ものづくり産業支援センター 1階
TEL.0263-50-8260・8261 FAX.0263-50-8945
Mail:job@mcci.or.jp
ホームページ:<https://www.mcci.jp/>
案内図については裏表紙の地図をご参照ください。

3.ジョブ・カード制度とは

- (1) 正社員化を目指す求職者に対して、有期実習型訓練等を実施し、達成度を評価した上で、新規雇用をする企業・事業所のための助成制度です。
- (2) 求職者には、事前に「ジョブ・カード」(従来の履歴書に必要事項を追加した内容)を作成していくだけ、有期実習型訓練や面接、また社員のキャリアアップに活用できるようにします。
- (3) 当該制度は、平成20年度、厚生労働省職業能力開発局の「人材能力戦略」として発足し、平成22年6月以降「実践キャリア・アップ戦略」平成27年には「日本再興戦略」を踏まえながら発展し、2020年までにジョブ・カード取得者300万人を目指しています。

4.長野県地域ジョブ・カードセンターでは

- (1) 対象企業・事業所は、松本・大北・木曽・諏訪地域の各企業・事業所です。
- (2) 6名体制で、ジョブ・カード制度の説明と、利用を希望する企業・事業所に対し、計画申請・助成金支給申請等の支援を実施していますので、ご活用ください。
- (3) 県内、長野・上田・伊那・飯田の商工会議所にサポートセンターを設置して、長野県全域の事業所に普及推進をしています

5.メンバー構成 (2018年4月現在)



4.信州大学学術研究・产学官連携推進機構

1.組織の名称

信州大学 学術研究・产学官連携推進機構

2.所在地

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 (信州地域技術メディカル展開センター1階)
TEL.0263-37-2091 FAX.0263-37-3049
Mail:ken-sui@shinshu-u.ac.jp
ホームページ:<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo/>

3.信州大学 学術研究・产学官連携推進機構の紹介

大学には、基本的使命として「教育」と「研究」に加え、第3の使命「社会貢献」が求められています。信州大学は、教育、研究の付加価値を高め、知の成果を積極的に社会へ還元するため、产学官連携を積極的に進めています。その窓口として、学術研究・产学官連携推進機構を位置づけています。

◆知(地)の拠点の活用&大学内のインキュベーション施設

松本、伊那、佐久、善光寺の主要4圏域に配置されたキャンパスと学内のインキュベーション施設。各インキュベーション施設は、共同研究等のために活用できます。

長野(教育)キャンパス

◎所在地／長野市
◎学部／教育学部

長野(工学)キャンパス

◎所在地／長野市
◎学部／工学部
◎インキュベーション施設／信州科学技術総合振興センター(SASTec)、国際科学イノベーションセンター、長野市ものづくり支援センター(UFO)

上田キャンパス

◎所在地／上田市
◎学部／織維学部
◎インキュベーション施設／ファイバーイノベーション・インキュベータ施設(Fii)、先進植物工場研究教育センター(SU-PLAF)、オープンベンチャー・イノベーションセンター(OVIC)、上田市産学官連携支援施設(AREC)

松本キャンパス

◎所在地／松本市
◎学部／人文学部、経法学部、理学部、全学教育機構(共通教育)、医学部
◎インキュベーション施設／信州地域技術メディカル展開センター(CSMIT)

伊那キャンパス

◎所在地／南箕輪村
◎学部／農学部

◆先鋭領域研究群&次代クラスターセンター (部局横断型研究)

- (1)信州大学の特色ある研究を研ぎ澄まし、新たな融合研究を創造する「カーボン科学研究所」、「環境・エネルギー材料科学研究所」、「国際ファイバー工学研究所」、「山岳科学研究所」、「バイオメディカル研究所」の5つの研究所からなる先鋭領域研究群。
- (2)次世代を担う「菌類・微生物ダイナミズム創発研究センター」、「航空宇宙システム研究センター」、「次世代医療研究センター」、「社会基盤研究センター」、「食農産業イノベーション研究センター」5つの次代クラスターセンター。

各研究所、センターの詳細はホームページをご覧ください。

◆SOAR (信州大学 研究者総覧・機関リポジトリ)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/soar/index.php>

信州大学の研究者の情報と研究成果を確認いただけます。

共同研究、受託研究等、連携のための検索にお役立てください。

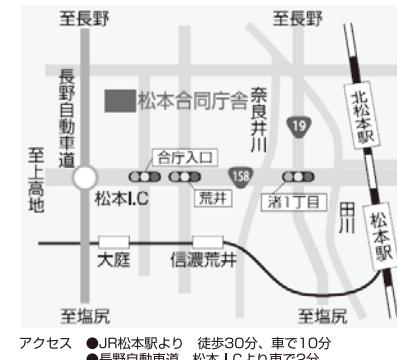
5.(公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

1.組織の名称

公益財団法人長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

2.所在地

〒390-0852 長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780 FAX.0263-47-3380
Mail:alps@tech.or.jp
ホームページ:<http://www.tech.or.jp/alps/>



3.組織

長野県テクノ財団は本部と5か所の地域センターからなり地域産業をサポートします。
アルプスハイランド地域センターは、松本市、安曇野市、塩尻市、大町市及び北安曇郡、東筑摩郡、木曽郡の町村を担当しています。

4.メンバー構成 (2018.4月現在)

事務局長、コーディネーター(2)、事務職員

5.業務内容

(1) 設置目的

長野県における地域産業資源を活用しつつ、技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進し、地域経済の活性化と自立化に資することを目的とする。

(2) 具体的業務内容

- ・产学官連携による先端技術研究開発の促進支援および新規事業の「シーズ」探索
- ・大学等と企業との人的交流を活性化させるためのネットワーク構築支援
- ・技術者や経営幹部育成のための研究会やスクールの開催

6.平成30年度事業計画

I、産学官交流事業

- 1、アルプス広域コーディネーター連携事業
- 2、大学・高専・企業との産学官連携交流事業

III、共同研究等推進事業

- 1、提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
- 2、提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業
- 3、提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業
 - 1) 植物光合成デバイス実用化支援事業
 - 2) 産業用燃料電池実用化支援

II、新産業創出支援事業

- 1、コーディネート活動事業
- 2、アルプスイノベーション研究会事業
- 3、低エネルギー消費ネットワーク実用化研究会事業
- 4、「旬」の技術研究会事業
- 5、松本地域産業活性化事業
- 6、地域IoT実用化研究会事業

IV、人材育成事業

- 1、技術者のための実践力パワーアップ講座事業
- 2、地域企業人材挑戦力育成事業
- 3、商品力・経営力強化のための研修事業
- 4、夏休み親子ものづくり教室事業

V、広報等事業

- 1、メール配信サービス
- 2、ホームページの充実